

個別施策

G4-1 芸術文化に触れる機会を創出します

G4-2 市民の自主的な芸術文化活動の活性化を図ります

ア 施策の目的

市民が、芸術文化に親しみ、心豊かに生活している。

イ 成果指標（「↑」は目標値を上回ることが望ましい指標、「↓」は目標値を下回ることが望ましい指標）

指標名	基準値 (時期)	区分	H28	H29	H30	R1	R2
芸術文化を鑑賞する 市民の割合	45.6% (26年度)	↑ 目標値	49.5%	49.5%	49.5%	49.5%	49.5%
		↑ 実績値	53.3%	54.2%	53.7%		
		↑ 達成率	107.7%	109.5%	108.5%		
芸術文化活動を行う 市民の割合	15.1% (26年度)	↑ 目標値	18.9%	18.9%	18.9%	18.9%	
		↑ 実績値	14.4%	19.8%	18.3%		
		↑ 達成率	76.2%	104.8%	96.8%		

ウ 審議会における施策推進に向けた提案

- グラバー園でイベントをする際には入場料とイベントのチケット料金を一度に払えるような仕組みにできないのか。
- 市の施設に指定管理制度を導入したことで、融通が利かずに使いづらくなっているところもあるので、運営の方法を検討してほしい。
- 新たな施設について一般市民には情報が届いていないので、もっと広報をすべきではないか。広報をすることで市民の興味・関心も生まれてくるのではないか。
- 文化が根付くにはゆとり（時間的、金銭的、精神的）がないといけない、それが無いというのが一番の問題ではないか。人がやっていることに興味を持てるような状況ではなくなっているということは、市全体の問題として考えていかなければいけない。
- 文化庁の予算は今非常に取りにくくなっているため、市の職員にも予算をとることが得意な人を育てていかなければいけない。

エ 次期総合計画の策定に向けた意見

- 成果指標の目標値について細かい数値を設定するのではなく、キリの良い数値設定にしてはどうか。
- 次期総合計画にむけて定量的成果指標を設定することだが、例えばアウトリーチ事業に力を入れるのであれば、その実施回数でも成果指標になるのではないか。